



江野澤 よしかつ えのさわ 千葉県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

新型コロナ
対策などで

17回の補正予算を編成

就任よりいまだ

このたび、栄誉ある第73代千葉県議会副議長を拝命いたしました。身に余る光栄に存じ、心から感謝申し上げますとともに、公正かつ円滑な議会運営のために全力を尽くしてまいります。

さて、千葉県では未だ感染の終息が見通せない新型コロナウイルスの感染拡大や、頻発する自然災害など、県民生活や県内経済は大きな打撃を受け、県民の安全・

安心な暮らしを守る上での課題が山積しています。今回のコロナ禍では、対応に当たられている医療従事者の皆さま、事業者の皆さまに寄り添い、県民丸となったこの苦境を乗り越えるべく、これらの課題に取り組んでまいります。

また、昨夏に開催されました東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、コロナ禍での開催といこともあり、1年間の延期や無観客での開催運営、感染防止対策など、難しい大会ではありましたが、この大会が本県にとって、今後のレガシーとして未来に生かされていくものと思います。

最後に、議会機能の一層の充実・強化と、県民に開かれた議会運営を目指すとともに、630万県民の負託と信頼に応え、誠心誠意、その職責を果たしてまい

千葉県の令和3年度当初予算は、3月に知事選を控えていたため、経常経費を中心とした「骨格予算」として編成し、知事選挙後の6月補正予算で、政策的な判断を要する経費や新規事業、投資的経費のうち新規着手分などを中心に、「肉付け予算」が編成されました。

また、新型コロナウイルス感染症への対応などのため、令和3年12月議会までに17回の補正予算が編成されました。

令和3年度の県予算

予算委員長を務め

現時点の予算規模は、2兆6316億4200万円です。12月補正後の予算額としては過去最大となっています。

新型コロナウイルス感染症への対応するための予算は、現時点8273億1800万円。主なものとして、飲食店や大規模施設等への感染防止対策協力金や、中小企業の経営を支援するための中小企業振興融資資金や

利子補給（宿泊者優待事業）、「感染症患者受入れのための空床確保事業」、「臨時医療施設運営事業」、「軽症者のための宿泊施設確保事業」ワクチン個別接種支援事業などとなっています。

江野澤副議長は、2月議会の「骨格予算」と、6月議会の「肉付け予算」の編成時に、ともに予算委員会の委員長を務め、令和3年度県予算の成立に努力してきました。

12月県議会の主な質疑

12月県議会は、昨年12月21日に閉会しました。自民党県議団を代表して県連政務調査会長が代表質問を行いました。このうち、妊婦の受入れ

が可能な病床として40床、小児の受入れが可能な病床として45床を確保するなど、配慮が必要な患者向けの病床の確保に努め、軽症者等に対応するための宿泊療養施設については、2000室を確保したところです。

オミクロン株はいまだ不確定、不明確な部分があり、今後の感染動向を十分に注視し、今後の感染再拡大にも対応できるよう、確保した病床や宿泊療養施設の効果的な運用に努めてまいります。



議長席に就き、議事を進める江野澤副議長

柳ヶ浦市選出の自民党、江野澤吉克（えのさわ・よしかつ）県議は、昨年6月から県議会の副議長に選任され、公正・円滑な議会運営に努めています。江野澤県議は県議会の中堅議員として、4期目の議会活動を活発に展開していますが、今回の「県議会レポート」では、令和3年度の県予算の編成状況と、地域の都市計画道路など道路整備について特集しました。また、12月議会での自民党の代表質問から、コロナ対策など県政の当面の重要課題について、主な質疑をお知らせします。

宿泊療養に2千室確保

自民党代表 新型コロナウイルス感染症への対応ですが、今年の夏の感染拡大を踏まえた病床や宿泊療養施設の確保について、どのように取り組んでいるのか。

熊谷知事 今年夏の感染状況を踏まえ、感染力がより強くなった場合も想定し、臨時の医療施設約200床を含め、最大で1736床を確保し、うち重症者用の病床として最大で178床を確保することを決めています。

そのうち、妊婦の受入れ

市内道路整備の進捗状況

都市計画道路 西河内根場線 ・中野畑沢線

都市計画道路西河内根場線及び中野畑沢線の街路事業は、主要地方道袖ヶ浦中島木更津線のバイパス部分であり、交通渋滞の解消やアクアライン着岸地周辺と袖ヶ浦市街地のアクセス向上を図るため、袖ヶ浦坂戸市場から木更津市金田3丁目までの延長1.1キロ区間で整備が進められています。

この事業は、平成29年度に事業着手され、幅員25メートル車道4車線、両側歩道の規模で、県が袖ヶ浦市や木更津市と連携し、用地の取得を進めているところであり、令和3年11月末現在、用地取得率は約9割となっています。

また、工事については、浮戸川の橋梁工事に必要となる進入路工事を昨年度までに実施し、現在、農業用水路の付け替え工事を行っているところであり、今後、袖ヶ浦市側の橋梁下部工事が予定されています。

県としては、引き続き事業の推進を図っていくとしています。



工事中の都市計画道路

県道千葉鴨川線

県道千葉鴨川線は、円滑な交通の確保や館山自動車道とのアクセス強化を図るため、袖ヶ浦市上泉から高谷までの延長4.6キロ区間で、道路拡幅やバイパス整備が進められています。

この事業は、令和2年8

月に延長1.6キロ区間のバイパス工事が完了し、全線が開通したところです。

このうち、袖ヶ浦市上泉地区の1.0キロについては、暫定2車線で供用しているため、現在、4車線化整備が進められています。



この先は未整備区間

県道長浦上総線

県道長浦上総線の袖ヶ浦市阿部地先については、幅員が狭く歩道もないことから、歩行者及び車両の安全を確保するため、富川橋南側交差点から広域農道までの0.3キロ区間で、現道を拡幅する事業が進められています。

この事業は、平成30年度の事業着手以降、地元協力者の皆さまのご協力により、地元の会や境界立会いが実施されてきました。これまでに、道路区域変更や税務署協



道幅の狭い現道

1面からの続き

保健所業務を見直し

自民党代表 今後の感染拡大に備え、陽性者の連絡や健康観察等を速やかに行えるよう、どのように保健所の体制を強化していくのか。

滝川副知事 県では今夏の感染拡大時における経験を踏まえ、「保健医療提供体制確保計画」を策定する過程であらためて保健所業務について見直しを行いました。

具体的には、地域の医療機関に対し、陽性者からの入院判断に必要な事項の聞き取り等について、協力を求めるとともに、医療機関で検査を受けた県民の皆様にご自身の緊急連絡先等の情報を入力していただく県独自のシステムを構築するなどにより、業務の効率化を図ってまいりました。

高校入試のコロナ対策

自民党代表 県立高校入試において、濃厚接触者の受検はどのように対応するのか。

富塚教育長 県教育委員会では、受検生が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者であっても、PCR検査等の結果が陰性で、受検当日も無症状であり、かつ公共交通機関を利用せずに受検会場に移動することができれば、別室での受検を可能としております。

3回目のワクチン接種

自民党代表 県内におけるワクチン接種の進捗状況はどうか。また、3回目の接種について、現在の県内の状況はどうなっているのか。

滝川副知事 県内の新型コロナウイルスの接種状況は11月30日現在、対象者の約

お知らせ

例年、年初めに行ってきた「江野澤吉克・

新春県政報告会」は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本年は中止させていただきます。

●袖ヶ浦市と県政に関するご要望をお寄せください。

えのさわ吉克 県議事務所

〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9 TEL.0438-75-8881 FAX.0438-75-8882

接種を完了しています。

3回目の接種については、12月1日から医療従事者等への接種が始まったところであり、各市町村で地域の実情に応じて計画的に接種体制の整備に取り組んでいます。

3回目の接種の対象は、2回目接種完了から概ね8か月以上経過した18歳以上の希望者とされることから、県としては、市町村における3回目接種が円滑に進むようワクチンの配分調整や、進捗管理を通して市町村を支援してまいります。